

日本興亜 肥後橋ビル



所在地：大阪府大阪市西区江戸堀1-11-4
 延床面積：34,521㎡
 構造・規模：鉄骨鉄筋コンクリート造、地下3階地上19階建
 照明更新工事：株大林組
 照明更新完成：平成24年3月

S182

築23年の快適でフレキシビリティの高い高層オフィスビル。全面的な電気設備保守改修の一環として照明を大部分LED化し、大幅な省エネルギーと温室効果ガス排出量の削減を実現しています。

築23年のオフィスビル。全面的な電気設備保守改修の一環としてLED照明に更新

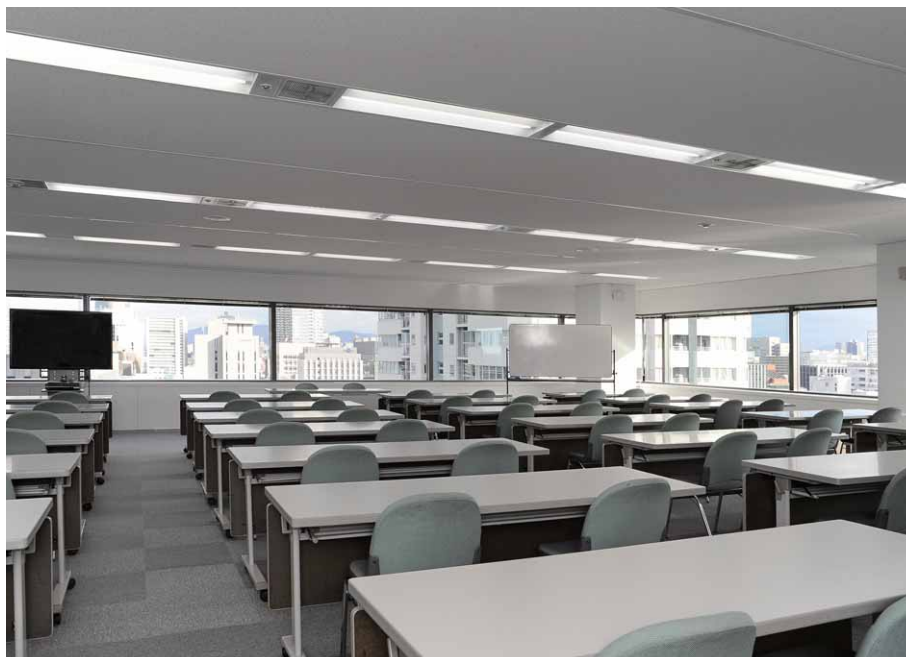
NKSJグループの中核会社として企業価値の向上に取り組まれている日本興亜損害保険(株)は、事故対応では迅速かつ適時・適切な支払いを推進しています。平成24年には「<価格.com>2012年自動車保険満足度ランキング」の事故対応部門で第1位を獲得。また、「安心・安全の提供」や「地球環境問題への対応」にも取り組んでおり、平成24年度は「地球温暖化防止活動環境大臣表彰」をはじめ、多くの賞を受賞しています。

平成2年竣工の日本興亜肥後橋ビルは、全面的な電気設備保守改修の一環として大部分でLED照明への更新を実施。大幅な省エネルギーとCO₂排出量の削減を実現しています。

直管形LEDランプ40タイプ2灯用システム天井用器具に更新し約35%省エネ

オフィス執務空間及び会議室の照明は、既存ではFLR40W2灯用システム天井用器具(下面開放)が使用されていましたが、今回の改修では、既存器具の位置を活かして、ほぼ同じ見かけの特注品で仕上げた直管形LEDランプ40タイプ(FLR40W相当)2灯用システム天井用器具(下面開放)に更新。既存と同レベルの視環境(平均照度680lx)を確保しながら照明単独で消費電力約35%の削減を可能とし、また熱の発散が少ないLEDの特性から夏期における冷房負荷の低減をもたらしています。さらに蛍光灯と比較して3~4倍の長寿命(40,000時間)によりランプ交換の手間も大幅に軽減しました。

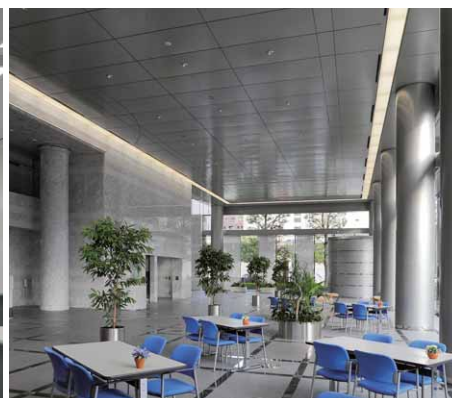
2層吹き抜けのエントランスホール(天井高さ約8m)は、ガラスのカーテンウォールからふりそぞろ昼光との光バランスと、高天井の建築的な魅力を引き出すため、建築化コープ照明として直管形LEDランプ40タイプ1灯用トラフを内蔵(下面ルーバ付)。所定照度を確保しつつ、壁面・天井面にも柔らかな光がゆきわたり、空間に広がり感を与えています。また省エネはもちろん、困難な高天井のメンテナンスも長寿命のLED器具により解消されています。廊下の照明は、LED一体形ダウンライトを均等配置し、分かりやすい移動空間を形成しています。



基準階オフィス・会議室の照明 直管形LEDランプ40タイプ2灯用システム天井用器具を採用



基準階小会議室の直管形LEDランプシステム天井用器具



エントランスホール 直管形LEDランプトラフによるコープ照明



LED一体形ダウンライトによる通路の照明



地階廊下・ホールのLED一体形ダウンライトによる照明



LED一体形ダウンライトによる基準階廊下の照明

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
基準階ベース照明器具	直管形 LEL40 タイプ 2 灯用システム	特注	1,167	LED 平均消費電力：55W
間接照明・コープ照明用	直管形 LEL40 タイプ 1 灯用トラフ	LEDT-41007-LDJ	1,014	LED 平均消費電力：26W
共用部ダウンライト	LED 一体形ダウンライト	LEDD-15001MW-LS9	83	LED 平均消費電力：20W